



東日本大震災復興支援



2015 紀の国 わかやま国体

第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆



2015 紀の国 わかやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

報告書

2015 紀の国
わかやま国体
躍動と歓喜、そして絆

2015 紀の国
わかやま大会
躍動と歓喜、そして絆

報告書



東日本大震災復興支援

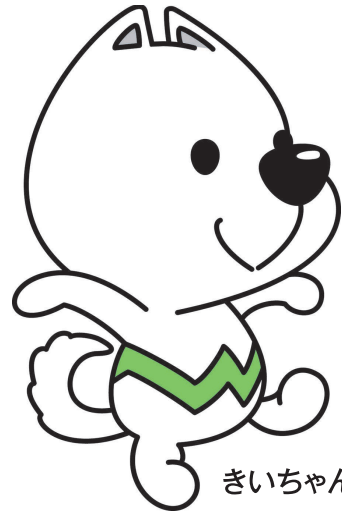


2015
紀の国 **わがやま** 国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆



2015
紀の国 **わがやま** 大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

報告書



きいちゃん

御製
作られし
鯨もいづて
汐を吹く
集団演技もて
国体開く

謹書者 原 彩花(紀央館高等学校)





『発刊のことば』

『躍動と歓喜、そして絆』をスローガンに開催いたしました東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」及び第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」は、天皇后両陛下、皇太子殿下をはじめとする多くの皇室の方々の御臨席・御臨場を仰ぎ、両大会あわせて延べ約76万人のご参加をいただく中で、大きな感動とともに成功裏に終了することができました。

これもひとえに、選手・役員の皆様はもとより、市町村や競技団体をはじめとする大会関係者の皆様、さらには両大会を様々な形で支えていただいた多くの皆様方のご支援・ご協力の賜であり、心より感謝申し上げます。

和歌山県選手団は、県民の大声援を力に、まさにスローガンの如く躍動し、「紀の国わかやま国体」では、念願の男女総合優勝、「紀の国わかやま大会」では、過去最多となる127個のメダルを獲得と素晴らしい結果を残し、県民に感動と勇気、そして郷土への誇りを与えてくれました。全力で戦ってくれた選手の皆様はもとより、寝食を忘れて長年競技力向上に尽力してこられた皆様に心から敬意を表します。

また、両大会は県民一丸となって創り上げた大会でした。ボランティアや開閉会式の式典出演者として多くの皆様にご参加いただいたほか、「県民みんなでおもてなし」を合言葉に、まちをきれいにし、花を育てて飾り、来県者の方々に積極的にお声かけを行うなど、まさに県民総参加で素晴らしい大会にすることができ、県民に「やればできる」という大きな自信と誇りをもたらしてくれたと確信しております。

さらに、両大会は東日本大震災からの復興を支援する大会でもありました。本県に避難された被災者の開閉会式へのご招待や、開閉会式会場の「おもてなし広場」での「東日本大震災復興支援ブース」の設置、被災地の小学生へのみかんの贈呈など、被災された皆様に勇気づける取組も行いました。次回は、その大震災で甚大な被害に遭われた岩手県での開催となります。一日も早い復興が成し遂げられますよう、そして「2016希望郷いわて国体・大会」が復興への架け橋となる大会として大成功を収められますよう祈念いたします。

結びに、両大会が残した成果と感動が永く後世に語り継がれることを願い作成しました本報告書が、今後のスポーツ振興に資するものとして広く活用されることを祈念いたしまして、発刊のごあいさつとさせていただきます。

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会実行委員会会長
和歌山県知事

仁坂吉伸

発刊に寄せて

公益財団法人日本体育協会 会長 張 富士夫



世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される奥深い歴史と文化を持ち、日本最大の半島として海と山の自然に囲まれた和歌山県において開催された東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会は、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、多くの成果と深い感動を残し、盛会裏のうちに、その幕を閉じました。

まずもって本大会の開催に際し、長年にわたり多大なご尽力をいただいた役員、係員、ボランティアの皆さんと、大会を応援いただいた和歌山県民の皆さんに対し、心より感謝を申し上げます。

和歌山県選手団は、開催地という大きな重圧を受けながらも和歌山県民の皆さんの期待に応え、男女総合成績で優勝をおさめ天皇杯を獲得されました。和歌山県の元気、活力、躍動感を全国にアピールした選手の皆さんに対し、心から賛辞を贈らせていただきます。

また、女子総合優勝となり、3年連続で皇后杯を獲得された東京都選手団にお祝い申し上げます。

本大会には、オリンピック競技大会をはじめとした各種国際競技大会で活躍している日本代表選手をはじめ、我が国を代表するトップアスリートが多数参加し、各競技とも盛況の中で熱戦が繰り広げられました。

郷土を代表して参加された選手が全力で競技に取り組む姿は、東日本大震災や自然災害により被災された方々をはじめ、多くの国民に夢と希望を与えたものと考えます。

全国から参加された選手の皆さんは、和歌山県民の皆さんのまごころのこもった歓迎と熱い声援を受け、日頃鍛えた力と技を発揮されるとともに、各会場の皆さんとの交流など貴重な思い出を胸に帰郷されたことと思います。

「躍動と歓喜、そして絆」のスローガンのもと、和歌山県民の皆さんが総力を結集し、長年にわたって取り組まれた成果は、今後、和歌山県の一層の飛躍と発展に活かされるものと確信しております。

終わりに、この報告書が「紀の国わかやま国体」の輝かしい足跡を残す記録として、また我が国のスポーツの普及・発展に役立つ貴重な資料として広く活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。

発刊に寄せて

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 会長 島原 光憲



皇太子殿下、高円宮妃殿下のご臨席を賜り、第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が、かくも盛大に開催できましたことを心より感謝申し上げます。

本大会は、選手・役員約5,500人が参加しました。「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに、選手の皆さまは歴史と自然あふれる和歌山の地で、地元の大きな声援を受け、精一杯、自己の能力を発揮されたことと思います。また、選手同士の交流はもとより、和歌山県民の皆さまとの交流も深められたことと思います。選手の皆さまには今後もスポーツを楽しみ、さらに自身の記録、限界に挑戦されることを期待いたします。

大会全般にわたり、ボランティアの方々をはじめ多くの方の温かいお心遣い、ご協力により運営も大変スムーズに進みました。大会を通じてご協力頂きました皆さま、開閉会式や各競技の観戦にお越しいただいた多くの皆さまの熱い思いは、選手に伝わるとともに、皆さまも障がい者スポーツの理解を深めていただくことができたものと確信しております。この熱い気持ちをさらに全国へ広げて参りたいと思います。

近年、障がい者スポーツを取り巻く環境は大きく変化してきております。一昨年4月には障がい者スポーツ行政が文部科学省に移管、昨年10月にはスポーツ庁が設置され、スポーツの一元化が進み、スポーツを総合的に調整し推進する体制が整いました。当協会といたしましても、あと4年と迫った東京2020パラリンピック競技大会に向けて、日本選手団の大活躍に向けた選手強化を図っていくとともに、国民に対する障がい者スポーツへの理解や認知度を高める活動を推進し、東京大会への国民全体の参加意識を高めて参りたいと考えています。そして、誰もが身近な地域で日常的にスポーツを楽しめる環境を整え、障がいのある人々のスポーツの普及振興、競技力向上に努めて参ります。

終わりに、和歌山県民の皆さまの心温まるご支援に感謝申し上げますとともに、本大会の開催にあたりご尽力くださいました多くの関係者の皆さまに厚く御礼申し上げます。

そして、多くの思い出に輝く「紀の国わかやま大会報告書」が、今後、わが国のスポーツの普及・発展に役立つ貴重な資料として活用されますことを祈念し、発刊に寄せるあいさつといたします。

発刊に寄せて

文部科学大臣 馳 浩



「躍動と歓喜、そして絆」をスローガンに、豊かな自然と歴史、文化が息づく和歌山県で開催されました東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会「紀の国わかやま国体」及び第15回全国障害者スポーツ大会「紀の国わかやま大会」が、天候にも恵まれ、多くの成果と感動を残し、成功のうちに閉会しましたことを心からお喜び申し上げます。

これもひとえに、感動を共有し魅力あふれる大会にするため、県民総参加で諸準備・運営に当たられた地元和歌山県の皆さんの想いが伝わったものであり、その御尽力に深く敬意を表します。

また、参加された選手の皆さんが、日頃鍛えた力と技を存分に発揮し、和歌山県内各地で繰り広げられた熱戦の数々は、東日本大震災の被災地はもとより全国の皆さんへ、大きな元気とスポーツの魅力を届けることができました。

両大会における地元和歌山県選手団の活躍には目を見張るものがありました。「紀の国わかやま国体」では、和歌山県は男女総合優勝を収め、44年ぶり2度目の天皇杯を獲得されました。「紀の国わかやま大会」では、和歌山県は県史上最多の281名の選手が出場し、合計127個のメダルを獲得され、大会を大いに盛り上げるとともに、障害者スポーツの普及・発展につながる大会となりました。

これらは、選手の皆さんと選手を支える関係の方々の長年にわたる地道な努力が結実したものであると思います。

文部科学省といたしましては、4年後に迫りました東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、スポーツ・文化イベントの実施等を通じて、日本全国で気運を盛り上げていくとともに、今大会に出場された選手から、世界の舞台へ羽ばたくアスリートが数多く輩出されることを期待しております。

結びに、本報告書が、「紀の国わかやま国体」「紀の国わかやま大会」の足跡を示す記録として、また、我が国のスポーツの普及・発展に寄与する貴重な資料として、広く活用されることを祈念し、発刊に寄せる挨拶といたします。

紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会

報告書 目次

1 御 製	001
-------	-----

2 発刊のことば	003
和歌山県知事	

3 発刊に寄せて	004
公益財団法人日本体育協会 会長	
公益財団法人日本障がい者スポーツ協会 会長	
文部科学大臣	

4 国体・大会概要、マスコット イメージソング、 地図・競技一覧	010
--	-----

第70回国民体育大会 紀の国わかやま国体

1 総合開会式	
式典	016
式典前演技「紀の国の“みち”」	024
オープニングプログラム	036
エンディングプログラム	041

2 競技会	
正式競技	042
特別競技	081
公開競技	082
デモンストラションスポーツ	086

3 総合閉会式	
式典	096
オープニングプログラム	104

4 第70回国民体育大会選手団 (47都道府県)	106
-----------------------------	-----

〈資料〉	
紀の国わかやま国体の概要	116
紀の国わかやま国体参加者数	117
会場地と競技日程	120
天皇杯／皇后杯 総合得点	123
男女総合成績(天皇杯)	124
女子総合成績(皇后杯)	128
総合開会式・総合閉会式次第	131
会場案内図	132
式典出演者・出演団体・協力者	133

第15回全国障害者スポーツ大会 紀の国わかやま大会

1 開会式	
式典	138
歓迎演技「紀の国の“みち”」	144
オープニングプログラム	150
エンディングプログラム	151

2 競技会	
正式競技	152
オープン競技	180

3 閉会式	
式典	182
オープニングプログラム	188
ファイナルステージ	189

4 第15回全国障害者スポーツ大会選手団 (47都道府県・20指定都市)	190
---	-----

〈資料〉	
紀の国わかやま大会の概要	204
紀の国わかやま大会参加者数	204
開催地と競技日程	205
都道府県・指定都市別参加者数	206
競技種目別・障害別参加者数	208
大会成績	210
団体競技結果	212
オープン競技結果	217
開会式・閉会式次第	223
会場案内図	224
式典出演者・出演団体・協力者	225

両大会共通・その他

1 東日本大震災復興支援 第70回国民体育大会役員懇談会	230
2 東日本大震災復興支援 第15回全国障害者 スポーツ大会和歌山県選手団激励会	231
3 国体・大会を支えた県民の皆さん	232
4 東日本大震災復興支援につながる両大会	246
5 開閉会式会場	248
6 きいちゃん広場	250
7 総合案内所	251
8 歓迎装飾	252
9 自衛隊による協力	253
10 県民運動	254
11 炬火イベント	262
12 開催に向けた取組	267
13 わかやまスポーツミュージアム	269
14 入賞記念品等	270
15 広報活動	275
16 両大会開催までのあゆみ	284
17 所感集	292

〈資料〉	
協賛・募金企業等一覧	310
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会 実行委員会組織図	314
紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会 実行委員会委員名簿	315

■ 両大会名称・愛称

第70回国民体育大会

2015 紀の国 **わがやま国体**

第15回全国障害者スポーツ大会

2015 紀の国 **わがやま大会**

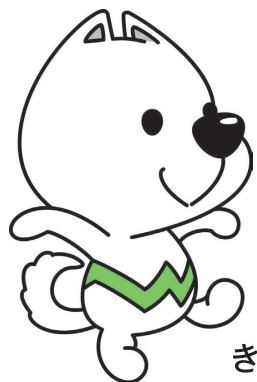
「紀の国」は、万葉の時代より和歌山を表す言葉として使われてきた言葉で、今も県民に親しまれ、さまざまな場面で使われています。

■ スローガン

躍動と歓喜、そして絆

活力に満ちたふるさとづくりに寄与する大会の実現を通じ、和歌山の元気・活力・躍動感を全国にアピールするとともに、大会に参加するすべての人が躍動し、歓喜する。そこに交流が生まれ、絆が深まるような大会を目指すことをイメージしています。

■ マスコット



きいちゃん

紀州犬をモチーフにした元気いっぱいのマスコット。体の緑色のマークは、和歌山の頭文字Wと豊かな緑を表現。生まれ育った和歌山の自然とスポーツが大好き。いろんなことにチャレンジして、たくさんの人と友だちになりたいと思っています。頑張る人を応援し、紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会を盛り上げました。

■ 開催会期

国体 平成27年9月26日(土)～10月6日(火)
バスケットボール競技 9月22日(火・祝)～9月26日(土)
会期前実施競技 9月6日(日)～9月13日(日)

大会 平成27年10月24日(土)～10月26日(月)

■ 実施競技

国体 正式競技:37競技 特別競技:1競技 公開競技:4競技
デモンストラレーションスポーツ:27行事

大会 正式競技:13競技 オープン競技:2競技

■ 基本目標・基本方針

国体	和歌山を元気に する国体	国体を契機とした スポーツの振興	活力に満ちたふるさと づくりに寄与する国体	和歌山の魅力を 全国に発信する国体
大会	可能性への チャレンジ	心温まる 『紀の国わかやま』へ	支え合う未来へ	

■ 開会式・閉会式会場

紀三井寺公園陸上競技場(和歌山市)
〈基本仕様〉
日本陸上競技連盟第1種公認、
IAAF(国際陸上競技連盟)クラス2認証



■ 公式ポスター



■ 競技開催地マップ

紀北

和歌山市

陸上競技	水泳（競泳）	水泳（水球）	テニス
体操（競技）	体操（新体操）	バスケットボール	セーリング
ウエイトリフティング	ハンドボール	自転車（トラック）	相撲
フェンシング	柔道	ライフル射撃（CP）	高等学校野球（硬式）
サーフィン	陸上競技（身・知）	水泳（身・知）	
卓球（身・知）	車いすバスケットボール（身）	※サウンドテーブルテニス（身）を含む。	
車いすテニス（身）	卓球（身・知）		

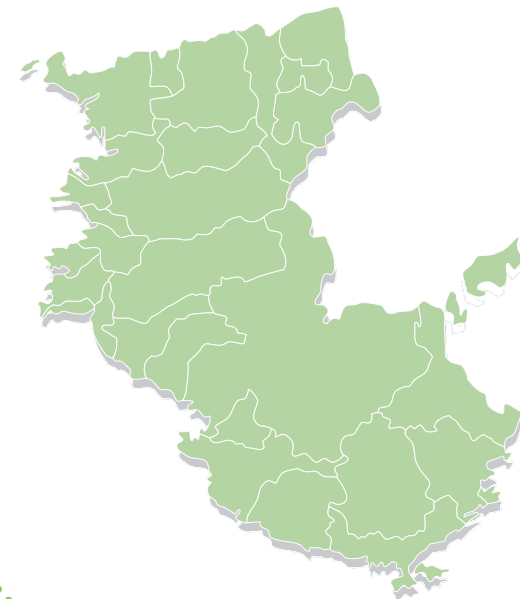
岩出市

ハンドボール
ボウリング
バドミントン
ボウリング（知）
バレーボール（身）

紀の川市

サッカー	ハンドボール
ソフトボール	綱引
パラグライダー・ハングライダー	ビリヤード
ベタンク	ソフトボール（知）
グランドソフトボール（身）	フットベースボール（知）
サッカー（知）	

●和歌山県全域マップ



橋本市

サッカー	バレーボール	ソフトボール
ソフトバレーボール	庭球野球 TE-YA	

九度山町

なぎなた

高野町

ゲートボール	3B 体操
--------	-------

かつらぎ町

ゴルフ	オリエンテーリング
-----	-----------

紀美野町

ホッケー	ゲートゴルフ	パークゴルフ
------	--------	--------

海南市

バスケットボール	ライフル射撃（CP除く）	銃剣道	エアロビクス	カローリング
日本拳法	バウンドテニス	武術太極拳		
バレーボール（知）				

県外開催の競技

大阪府 門真市	滋賀県 大津市	兵庫県 三木市	神奈川県 伊勢原市
水泳（飛込）	水泳（シンクロ） ナイスドイミンク	ボート	馬術
			クレール射撃

●有田市

軟式野球	近代3種	ディーボール
------	------	--------

●広川町

パワーリフティング

●有田川町

スポーツチャンバラ	リレーション3 （3人制ゲートボール）
-----------	------------------------

●湯浅町

軟式野球	スポーツ吹矢
------	--------

●由良町

ウォークラリー

●日高川町

カヌー （スプリント）	アーチェリー	アーチェリー（身）
----------------	--------	-----------

●印南町

ゴルフ	自転車（ロード）
-----	----------

●日高町

ホッケー

●美浜町

ビーチボールバレー

●御坊市

バレーボール	軟式野球
--------	------

●みなべ町

軟式野球	山岳（リード・ボルダリング）
------	----------------

紀中

●田辺市

サッカー	ボクシング	軟式野球
弓道	合気道	インディアカ
キンボールスポーツ	バスケットボール（知）	バレーボール（精）

●上富田町

サッカー	軟式野球	ラグビーフットボール	フライングディスク（身・知）
------	------	------------	----------------

●白浜町

ソフトテニス	卓球	空手道	ビーチラグビー
--------	----	-----	---------

●古座川町

ウォーキング

●那智勝浦町

レスリング	剣道
-------	----

●北山村

カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）

●新宮市

サッカー	高等学校野球（軟式）
------	------------

●すさみ町

グラウンドゴルフ

●串本町

サッカー	ラグビーフットボール	高等学校野球（軟式）
------	------------	------------

●太地町

ウォークラリー

紀南

競技名	国体正式競技	競技名	全国障害者スポーツ大会 正式競技
競技名	国体特別競技	競技名	全国障害者スポーツ大会 オープン競技
競技名	国体公開競技		
行事名	国体デモンストレーション スポーツ		

身=身体障害者が出場できる競技

知=知的障害者が出場できる競技

精=精神障害者が出場できる競技

■ 紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会イメージソング

「明日へと」

あした
作詞・作曲／ウインズ平阪

明日へと

きのうきょうそしてあしたへとゆめのバトンつないでみ
4 らいへーきれいなこーとばだけれどーそんなにーたやすくなくて
8 ーでもつらいときこそちかくーにしあわせのいりぐちかく
12 れてーるーとびこめるかーみのがすかーはーきみのきもちしだいさー
16 あーおいうみーあーおいそらー
20 こーころにふきこむーしーおかぜがー
24 あーしたへとーはーしりだすー
28 きーみをまーつてますーおいでーよはーるかなくにへー

1. 昨日今日そして明日へと 夢のバトン繋いで未来へ
綺麗な言葉だけれど そんなに容易(たやす)くなくて
でも辛(つら)い時こそ近くに 幸せの入口隠れてる
飛びこめるか 見逃すかは 君の気持ち次第さ
青い海青い空 心に吹き込む潮風が
明日へと走り出す 君を待ってます おいでよ悠久(はるか)な国へ
2. もし描いた想い届かず たとえ夢に破れたとしても
流した汗と涙は 未来への貯金なのさ
苦しさ乗り越えた分だけ きっと喜びが待ってるから
どんな時も忘れないで 描いた志を
空と海赤く染め 波間に輝く太陽も
明日へと駆け抜ける 君を照らします ようこそ悠久(はるか)な国へ

青い海青い空 心に吹き込む潮風が
明日へと駆け抜ける 力をくれるよ さあ今悠久(はるか)な国へ

2015 紀の国わかやま国体
第70回国民体育大会 躍動と歓喜、そして絆